

<まちづくり芸術文化トークセッション>

まちの潜在的な可能性としてのアート力

まちづくりの可能性を文化面・アート面の視点から捉えてみるトークセッション。美術家・障がい福祉事業者・飲食店。それぞれ住む場所も職種も違う三人が地域や人にアプローチし続けて来た理由やそれぞれの立場から見えるアートとまちづくりの可能性についてクロストークを行います。

日時

令和5年2月11日(土) 18:00~20:00

会場

本町BASE (関市本町6丁目4-1)

対象

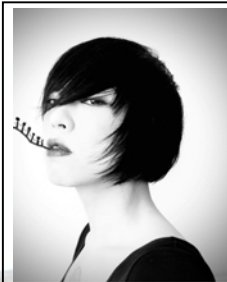
- ・市街地の未来に関心のある方
- ・アートに関心のある方 など

参加
無料

定員
20名

※都合がつかない方は記録動画のリンクをお渡しします。下記申込先までメールでお申込みください

<スピーカー紹介>



廣海 充南子 (ひろみ みなこ)
美術家・アート講師 兼ディレクター (大阪生まれ)

17歳、ダライラマ法王の話を知ってから、現代の曼荼羅の世界を身体表現(舞踊)、精密画により表現を始める。バックパックを背負い旅をしている途中、20才スマトラ津波を体験し死生観が変わる。ロンドンにてアール・ブリュット(一般的には障がいをもつ方のアート)に出会い、帰国して福祉の世界に飛び込む。重度知的障がい者自立支援員として働き、のちアート講師、兼ディレクターとして現在も施設を回っている。



竹迫 順平 (たけさこ じゅんぺい)
国産クミン協会代表・極楽カレー店主・『極楽語』著者・極楽仏画家

鎌倉で人気カレー店を営みながら、全国各地で国産クミン栽培に挑戦している。毎日何の役にも立たない落書き#極楽語とゆるい仏画をSNSで発信し続けている。



森口 誠 (もりぐち まこと)
一般社団法人暮らしランプ代表 (京都生まれ)

京都府立桂高校園芸ビジネス科に在学中に、草花クラブでアジサイの品種改良に取り組み、メディアでも注目される。卒業後は、園芸会社などを経て社会福祉法人などに勤務したのち、2017年「一般社団法人暮らしランプ」を設立。代表を務めている。



コーディネーター：本町BASE 大野 雅孝

申込締切 2/10 (金)

申込先

本町BASE (関市基盤整備部都市計画課)

TEL: 0575-36-1391 E-mail: honmachi-base@city.seki.lg.jp

住所・氏名・所属・電話番号を電話またはメールでお申込みください。